

(資料)

- 資料 1 町田市新たな学校づくり基本計画検討会設置要領
- 資料 2 鶴川西地区 新たな学校づくり基本計画検討会委員名簿
- 資料 3 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会 開催経過
- 資料 4 学校施設の利用に関するアンケート（概要）
- 資料 5 町田市「学校づくり意見募集」調査報告書（鶴川西地区）（概要）
- 資料 6 鶴川西地区 路線バス状況調査の結果
- 資料 7 施設整備内容に関する意見のまとめ
- 資料 8 統合新設校の学校名選定基準について
- 資料 9 新たな学校名（案）に関する意見募集結果（概要）
- 資料 10 統合対象校の物品のまとめ

町田市新たな学校づくり基本計画検討会設置要領

（趣旨）

第1 この要領は、町田市新たな学校づくり推進計画（以下「推進計画」という。）に基づく新たな学校づくりを推進するにあたり、新たな学校づくり基本計画（以下「基本計画」という。）を策定するために必要な事項を検討する新たな学校づくり基本計画検討会（以下「検討会」という。）の設置及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第2 検討会は、推進計画の期間内に新たな学校づくりに着手する学校ごとに設置する。
2 検討会の設置期間は、設置の日から検討結果を町田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に報告する日までとする。

（検討事項）

第3 検討会は、新たな学校づくりに関する次に掲げる事項のうち必要な事項について検討し、その結果を、教育委員会に報告する。

（1）統合新設校の統合準備に関すること

（2）新たな学校づくりにおける学校の施設、設備の整備等に関すること。

（3）前各号に掲げるもののほか、新たな学校づくりに必要な事項に関すること。

2 検討会は、前項の規定による検討を行うため必要な範囲において、広報、調査、意見の募集その他の活動を行うものとする。

（組織）

第4 検討会の委員（以下「委員」という。）は、推進計画の期間内に新たな学校づくりに着手する学校ごとに次に掲げるものをもって充て、教育委員会が委嘱する。

（1）新たな学校づくり対象校の学校運営協力者の代表 各校2名以内

（2）新たな学校づくり対象校の保護者の代表 各校3名以内

（3）新たな通学区内の地域の代表 2名以内

（4）新たな学校づくり対象校の教職員の代表者 各校2名以内

（5）前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

（任期）

第5 委員の任期は、委嘱をした日から検討会の検討結果を報告する日までとする。

（会長及び副会長）

第6 検討会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、第4の（4）に規定する者の中から、各1名定める。

3 会長は、検討会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7 検討会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて会長が招集する。ただし、会長が選任される前に招集する会議は、教育委員会が招集する。

2 会議は、委員の過半数の出席により開催する。

3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者を出席させることができる。

(守秘義務)

第8 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(意見の聴取等)

第9 検討会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて意見を聴取し、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第10 検討会の庶務は、教育委員会学校教育部新たな学校づくり推進課において処理する。

(その他)

第11 この要領に定めるもののほか、検討会に関し必要な事項は、会長が検討会に諮り、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長の決するところによる。

附則

この要領は、2021年12月10日から施行する。

附則

この要領は、2022年4月1日から施行する。

鶴川西地区 新たな学校づくり基本計画検討会委員名簿

選出区分	学校名・役職等	氏名（敬称略）	期間※
統合対象校 の児童又は生 徒の保護者の 代表	鶴川第三小学校	豊田 範子	
	鶴川第三小学校	杉山 由香子	
	鶴川第三小学校	平城 聖子	
	鶴川第四小学校	楨田 美哉	2022年2月7日～ 2022年5月22日
	鶴川第四小学校	大堀 亜美	2022年2月7日～ 2022年5月22日
	鶴川第四小学校	土手 祥子	2022年2月7日～ 2022年3月27日
	鶴川第四小学校	鶴田 朋世	2022年3月28日～
	鶴川第四小学校	岡田 淳	2022年5月23日～
	鶴川第四小学校	前田 美和子	2022年5月23日～
統合対象校 の学校協力 者の代表	鶴川第三小学校 学校運営協議会	北川 もと	
	鶴川第三小学校 学校運営協議会	竹村 礼子	
	鶴川第四小学校 学校運営協議会	田中 昭光	
	鶴川第四小学校 学校運営協議会	大隅 明	
地域代表 (新学区内で 2名以内)	鶴川地区町内会・自治会連合会	仲村 清彦	
	鶴川地区町内会・自治会連合会	浅沼 秀作	
統合対象校 の教員の代表	鶴川第三小学校 校長	鱒坂 映子	
	鶴川第三小学校 副校長	井上 正義	
	鶴川第四小学校 校長	悴田 隆良	
	鶴川第四小学校 副校長	和地 恵美	2022年2月7日～ 2022年3月31日
	鶴川第四小学校 副校長	河本 直樹	2022年4月1日～

※就任期間がないものについては、2022年2月7日～設置要領第5に定める期間まで
終期の記載がないものについては、設置要領第5に定める期間まで

鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会 開催経過

開催回	開催日時	会場	検討・確認内容
第1回	2022年 2月7日	鶴川第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな学校づくりに関する基本情報の共有 ・鶴川西地区の新たな学校の概要 ・検討会の検討事項及びスケジュール ・新たな学校づくりの意見募集内容
第2回	2022年 3月28日	鶴川第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策① ・通学の負担軽減① ・新たな学校の運用体制 ・新たな学校施設（施設配置）
第3回	2022年 4月25日	鶴川第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・意見募集結果の確認 ・新たな学校名（案）意見募集内容 ・育てたい子ども像①
第4回	2022年 5月23日	鶴川第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい子ども像② ・通学路の安全対策② ・通学負担の軽減② ・歴史の継承① ・新たな学校施設（施設配置）
第5回	2022年 6月27日	鶴川第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策③ ・通学の負担軽減③ ・歴史の継承② ・新たな学校の校歌・校章
第6回	2022年 7月25日	鶴川第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の負担軽減④（学区外通学） ・学校跡地等の活用（企画政策課） ・新たな学校施設（地域開放・屋外環境） ・新たな学校名（案）①
第7回	2022年 8月29日	鶴川第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の負担軽減⑤（学区外通学） ・学校統合に伴う避難施設（防災課） ・新たな学校施設（避難施設機能） ・新たな学校名（案）②
第8回	2022年 9月26日	鶴川第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画検討会報告書（案） ・通学の負担軽減⑥ ・通学路の安全対策④ ・新たな学校名（案）③
第9回	2022年10月24日	鶴川第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画検討会報告書（案） ・学童保育（児童青少年課） ・特別支援学級等の設置 ・通学路の安全対策⑤ ・学校統合時の児童への配慮
第10回	2022年11月22日	鶴川第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画検討会報告書（案） ・新たな学校施設の需要調査結果 ・新たな学校施設（施設整備コンセプト） ・保護者組織や地域協働
第11回	2022年12月19日	鶴川第三小学校	基本計画検討会報告書（案）
第12回	2023年 1月23日	鶴川第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画検討会報告書（最終案） ・今後のスケジュール

■ 学校施設の利用に関するアンケート（概要）

1 アンケート調査概要【2022年8月15日～9月16日実施】

学校施設の利用に関するアンケートについては、新たな学校づくりの検討に着手している地区において、以下のとおり実施しました。

（1）対象者・実施方法等

対象者	周知方法	回答方法
1 児童	学校を通じて配布	原則 Web フォーム ※書面回答も可
2 児童の保護者		
3 地域（未就学児保護者）	保育・幼稚園から配布	
4 地域（町内会・自治会）	会長へ郵送	
5 学校開放の利用団体	学校開放運営委員会の委員長へ送付 〔9校：町三小、本町田東小、本町田小、鶴川二小、鶴川三小、鶴川四小、南二小、南成瀬小、南一小〕	書面
6 近隣の公共施設の貸し会議室等を利用している団体	貸し会議室等を利用した団体及び個人に窓口で配布 〔6施設：木曾山崎コミュニティセンター、玉川学園コミュニティセンター、鶴川市民センター、なるせ駅前市民センター、成瀬コミュニティセンター、南市民センター〕	
7 上記以外の市民	ホームページ	

（2）主な調査内容

対象者	調査内容
1 児童	①学校や学年 ②学校でやってみたいこと、できたら嬉しいこと
2 児童の保護者	①お子さまの学校や学年、お住まいの地域、普段利用している公共施設（属性） ②学校施設で受けたいサービス ③学校施設を利用したいか ④どの場所（ex.体育館・家庭科室・音楽室・理科室）で何がしたいか
3 地域（未就学児保護者）	
4 地域（町内会・自治会）	
5 学校開放の利用団体	
6 近隣の公共施設の貸し会議室等を利用している団体	
7 上記以外の市民	

（3）回答者数（人）

全体	児童	児童の保護者	地域（未就学児保護者）	地域（町内会・自治会）	学校開放の利用団体	近隣の施設利用団体	左記以外の市民
3,487	2,024	531	289	41	39	544	19

2 調査結果（抜粋）

●問 学校施設を活用して受けたいサービスは何ですか。

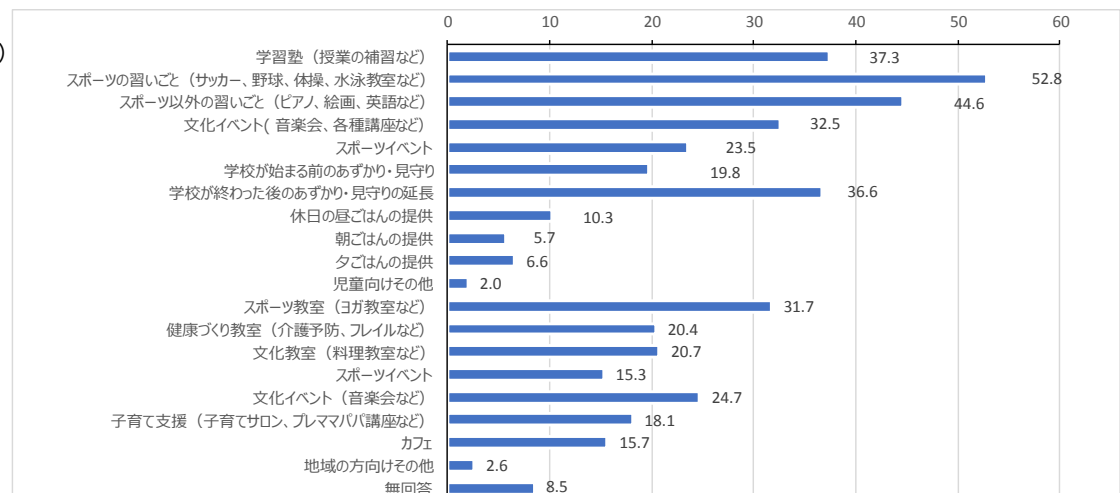
児童

(n=2024)



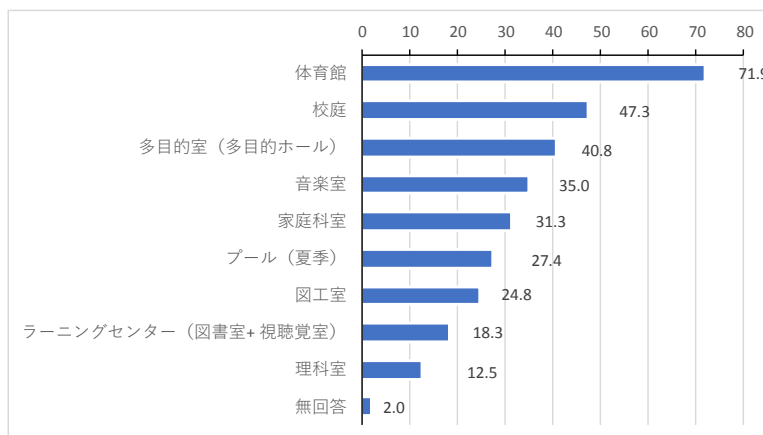
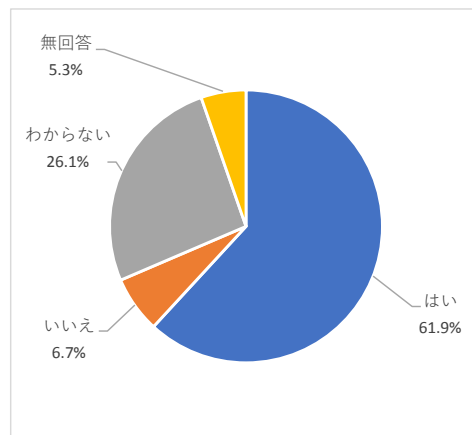
児童以外

(n=1463)

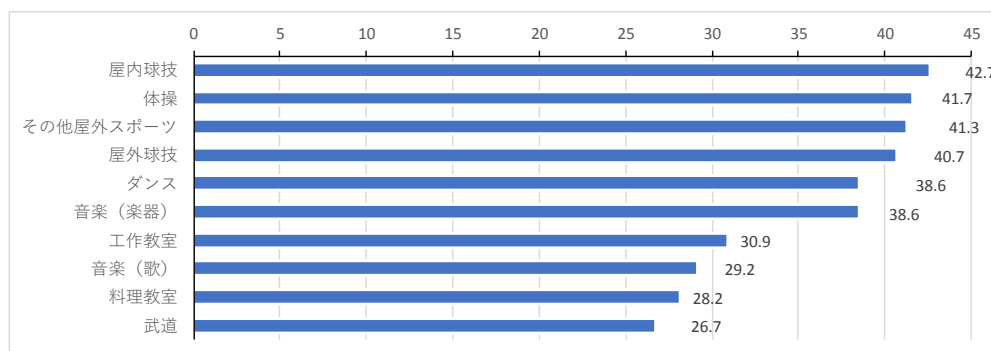


●問 新しい学校を利用したいですか。(n=1,463)

●問 どの場所を使って何をしたいですか。(活動場所) (n=905)



●問 どの場所を使って何をしたいですか。(活動内容) (n=905) 上位10位を抜粋



■町田市「学校づくり意見募集」調査報告書（鶴川西地区）（概要）

1 意見募集概要【2022年1月26日～2月16日実施】

（1）意見募集の対象者等

対象者	対象者数	回答者数 (回答率)	意見提出件数	配付・周知方法
統合対象校の児童	908	357 (39.3%)	1,307	学校を通じて配布
統合対象校の児童 の保護者	908	218 (24.0%)	1,376	学校を通じて配布
新たな通学区域に居 住している未就学児 の保護者	1303	134 (10.2%)	618	郵送
統合対象校の教員	54	24 (44.4%)	190	学校を通じて配布
新たな通学区域内 の町内会・自治会	26	7 (26.9%)	54	町内会・自治会 (代表者へ郵送)
上記以外の市民	—	6	32	ホームページ・広報紙

（2）意見募集の設問等

対象	設問	回答内容の活用項目
保護者・ 地域・ 教員	①学校施設の良いところ・改善してほしいところ	施設整備内容
	②鶴川西地区の地域や学校の特色	学校名、歴史の継承
	③育てたい子ども像	教育目標
	④新しい学校に期待するもの	施設整備内容
	⑤新しい学校に引き継ぎたいもの	歴史の継承
児童	①学校のすきなところ	学校名、歴史の継承
	②学校の中(教室や体育館、廊下など)にあったらうれしいもの	施設整備内容
	③学校の校庭（建物の外）にあったらうれしいもの	施設整備内容

2 調査結果（要旨）

（1）保護者・地域・教員

①学校施設の良いところ・改善してほしいところ

【主なキーワード】

学校名	良いところ	改善してほしいところ
鶴川第三 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が広い(校庭、廊下、教室数など) ・構造(つくりが単純、日当たり良好など) ・近隣(自然が多い、公共施設が隣など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部分(廊下が暗い・汚い、トイレ) ・構造(バリアフリー、校庭に日かげなど) ・ICT 環境(インターネット環境の充実など)
鶴川第四 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭(広い、日当たりが良いなど) ・校舎(教室数、トイレがきれい、校舎の広さ等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設(プールの位置、体育館の位置など) ・施設配置(教室間の距離など)

②鶴川西地区の地域や学校の特徴

主なご意見の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊か（都内でも緑が多い、公園や緑が多い、川や山、坂が多いなど） ・ 施設（大小様々な公園、学校施設、団地、商店街など） ・ その他（静かな住環境、のどか、治安が良い、車社会など）

③育てたい子ども像

主なご意見の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見を伝えられる子、自主的に考えて行動できる子 ・ 環境の変化に対応できる子、協調性のある子 ・ 思いやりのある子、優しい子、善悪の判断ができる子 ・ チャレンジする子、前向きな子、積極的な子 ・ のびのび、いきいき、明るい子、あいさつできる子 ・ 地域を大切にする子、文武両道、自己肯定、個性豊か、多様性を認め合う など

④新しい学校に期待するもの

主なご意見の内容	
学校設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ セキュリティ（安心安全、防犯に強い、防災拠点としての機能など） ・ 校庭、外（広い校庭、緑豊かな学校） ・ 普通教室（冷暖房、オープンな教室、快適に過ごせる教室）
学校教育・学校生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめがない学校 ・ 子どもたちが楽しく通える学校、のびのびとした学校 ・ 英会話、情報技術など様々な学びを可能にしてほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に開かれた学校（地域の方も利用しやすい、地域の資源を活用した授業） ・ 個性を伸ばせる学校

⑤新しい学校に引き継ぎたいもの

学校名	主なご意見の内容
鶴川第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設面（校庭の芝生、校庭の広さ、給食など） ・ 教育面（農業体験、他学年交流など） ・ その他（谷川俊太郎さん作詞の校名が入っていない校歌）
鶴川第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設面（広い校庭、デイサービス、給食、鶴の台など） ・ 教育面（兄弟学級、異学年交流など） ・ イベント（つるよんまつりなど）

(2) 児童

①学校のすきなところ

学校名	主なご意見の内容
鶴川第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校庭、外（遊具、校庭が広い、芝生など） ・ 共用部分（廊下が長い、トイレがキレイ） ・ 学校の過ごし方（みんな仲良し、ともだち、給食がおいしいなど）
鶴川第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校庭、外（広い校庭、鶴の台、飼育小屋など） ・ 校風（みんながのびのびしている、あいさつ、先生が優しいなど） ・ 学校の過ごし方（ともだちと遊べる、給食がおいしい、音楽が朝流れるなど）

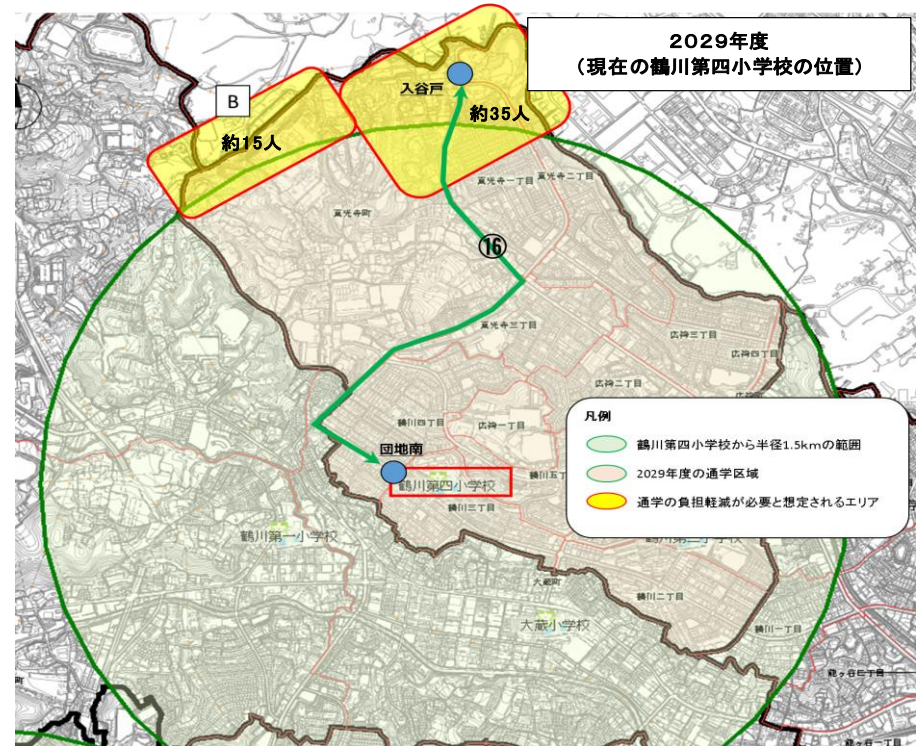
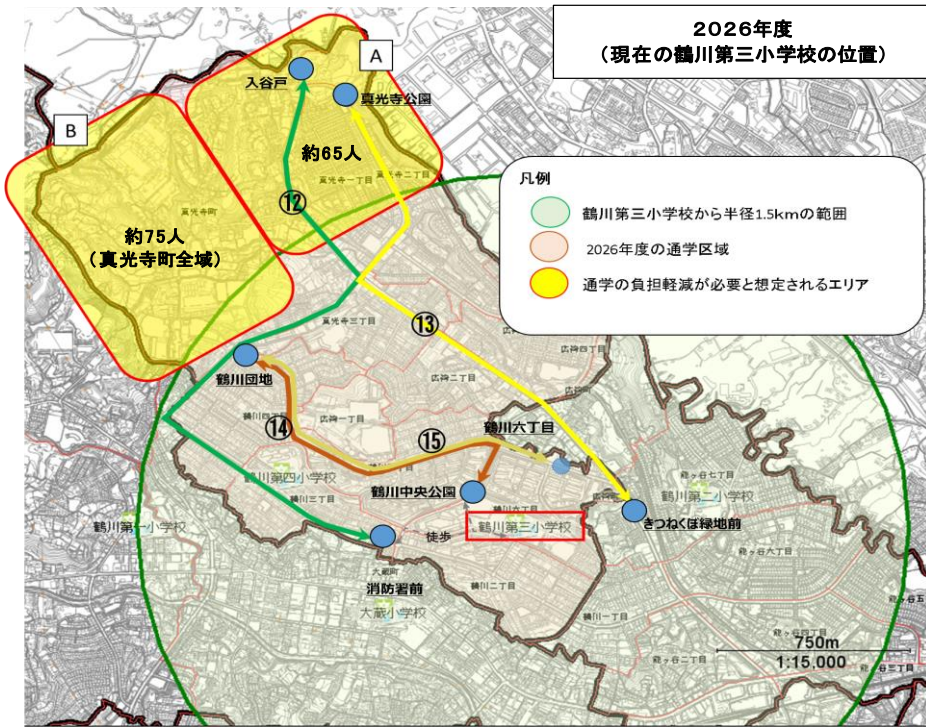
②学校の中(教室や体育館、廊下など)にあったらうれしいもの

主なご意見の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 収納（大きいロッカーなど） ・ 物品（動かしやすい机や椅子など） ・ 共用（エレベーターやエスカレーター、お湯が出る水道、きれいなトイレなど） ・ 体育施設（室内プールなど）

③学校の校庭（建物の外）にあったらうれしいもの

主なご意見の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具（滑り台、シーソー、ブランコ、アスレチックなど） ・ 体育施設（サッカーゴール、バスケットゴール、野球場など） ・ 校庭（花壇、芝生、人工芝、ベンチ、噴水など）

■ 鶴川西地区 路線バス状況調査の結果



47

地区	時点	学校の位置	利用想定区間		①通学時間		②バス運行量		③乗換	④バスの利用状況			⑤バス待ち環境		
			路線		【往路／復路】(分)		運行間隔※1 (分)			1便あたりの乗車率 (%) ※2			学校近くの停留所		
			番号	エリア	利用区間	バス利用	徒歩のみ	往路		復路	往路	復路		往路	復路
鶴川西	2026年度	現在の鶴川第三小学校	⑫	A	入谷戸⇄消防署前	27/26	38/39	16~18	20~30	なし	28.5	24.6	41.4 (15時台)	歩道有	歩道有
			⑬		真光寺公園⇄きつねくぼ緑地前	23/26		8~9	10~30		なし	36.7	28.2	31.6 (16・19時台)	歩道有
			⑭	B	鶴川団地⇄鶴川中央公園	30/35	44/48	4	6~10	なし	15.1	22.3	38.0 (19時台)	歩道有	歩道有
			⑮		鶴川団地⇄鶴川六丁目						17.5	21.8	25.3 (15時台)	歩道有	歩道有
	2029年度	現在の鶴川第四小学校	⑯	A	入谷戸⇄団地南	18/18	33/33	16~18	20~30	なし	27.6	23.1	34.6 (15時台)	歩道有	歩道有

★ 2029年度のBエリアについては、徒歩30分程度で通学可能であり、かつ路線バスを利用しても時間短縮効果が得られないことから路線バスの利用は想定していない。

※1 運行間隔は2022.7月現在のダイヤ、往路：学校に8：10までに到着できる7時台の運行間隔、復路：13時～19時台の運行間隔を掲載。

※2 1便あたりの乗車率は、往路：学校に8：10までに到着できる7時台の時間帯平均乗車率、復路：13時～19時台の全時間帯平均乗車率と、乗車率が最大となる時間帯の平均乗車率を掲載。

■ 学校施設配置に関するワークショップのまとめ

鶴川西地区 ワークショップ意見一覧

学校施設配置

A-1案		良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ● 校舎が風よけになる（近隣の砂ほこり） ● 地域の出入り口が地域利用施設に近い ● (A案共通) 防災対応として体育館と校舎を切り離し使用できる ● (A案共通) 校舎まで正門からグラウンドを通る距離が長いので不審者が入りにくい
		気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ● 60m以上もある直線廊下が長い ● (A案共通) 鶴の台と分断され遊びにくい、目が行き届かない ● (A案共通) グラウンドが狭く、校舎の裏の面積が多い ● (A案共通) 崖と校舎が近く日影、死角になる ● (A案共通) 給食ゾーンへの車の出入りが離れている ● (A案共通) 校門から昇降口まで遠い
A-2案		良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育館・プールが広い ● 多目的ホールが各階にとれる ● 学童が校門・駐車場に近い ● (A案共通) 防災対応として体育館と校舎を切り離し使用できる ● (A案共通) 校舎まで正門からグラウンドを通る距離が長いので不審者が入りにくい
		気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ● (A案共通) 鶴の台と分断され遊びにくい、目が行き届かない ● (A案共通) グラウンドが狭く、校舎の裏の面積が多い ● (A案共通) 崖と校舎が近く日影、死角になる ● (A案共通) 給食ゾーンへの車の出入りが離れている ● (A案共通) 校門から昇降口まで遠い
B-1案		良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ● 日当たりがよい ● 児童と車両動線の明確な分離ができる ● 災害時の避難の点から3階がよい ● プール・体育館が広い ● (B案共通) B案の方が開放面が多い ● (B案共通) 駐車場から給食ゾーンが広いので危なくない ● (B案共通) グラウンドが広く鶴の台と一体化していて使いやすく、運動会等の行事の時使いやすい
		気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ● (B案共通) 正門入ってすぐの昇降口は登校時溜まる可能性がある ● (B案共通) 吹抜の安全対策（転落防止）が心配、夏冬の防寒対策、夏の冷房代費用がかかる ● (B案共通) 屋内プールが上階にあるデメリットが気になる、壁の老朽化や耐震性が心配
B-2案		良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ● 学童が駐車場近くに配置されているのがよい ● (B案共通) B案の方が開放面が多くよい ● (B案共通) 駐車場から給食ゾーンが広いので危なくない ● (B案共通) グラウンドが広く鶴の台と一体化していて使いやすく、運動会等の行事の時も通している
		気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ● 4階に普通教室が気になる ● 災害時4階普通教室からの避難は時間がかかる（将棋倒し） ● (B案共通) 正門入ってすぐの昇降口は登校時溜まる可能性がある ● (B案共通) 吹抜の安全対策（転落防止）が心配、夏冬の防寒対策、夏の冷房代費用がかかる ● (B案共通) 屋内プールが上階にあるデメリットが気になる、壁の老朽化や耐震性が心配
共通	<p>○門・アプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● つる3小側から通学する児童を考え、南門・正門両方使用すると、広範囲から児童が入りやすい、歩車分離する。 ● 南面の斜面を削り、通学路（正門前）歩道を広げたほうが良い、道をうろうろする児童は危ない ● 正門の位置、正門はもっと西に作るべき <p>○外構・グラウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 砂埃対策で、人工芝化 ● グラウンドの広さ・質を大切にしたい ● 鶴の台を活用する ● 車使用の際の分離を徹底する <p>○校舎・体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 障害を持った児童のために、EVの設置。バリアフリー化 ● 特別支援教室と職員室が近接配置しているとよい ● 教室の日当たりはよくしたい ● 体育館は1～2階くらいのが良い <p>○学童・まちとも</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学童が門側近くにあるとよい（昔は門近くにあった） <p>○地域利用・避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校と地域活動の施設を分ける ● 守衛室を設けるべき ● 地域との連携と安心安全な学校生活両方を大切に 		

地域開放エリア・屋外の環境づくり

【地域開放について】

○開放区画について

- 屋内プールは一般開放しているのか
- 開放は慎重に。プールはどうか ... 体育館、グラウンドくらい
- コミュニティルームはどのような活動ができるのか
→地域の人の活動場所の常設

○セキュリティ

- 開放エリアとの境に門を設ける
- 教育の場とコミュニティの場は分ける

○運営・管理

- 利用時間帯（平日・休日等）整理が必要
- 土日の開放で子どものみ（在校生のみ）の利用にしたい
- 管理者が必要、職員のみ負担は避ける
- 学校運営は PTA でよい

【屋外環境について】

○駐車場・車両動線・送迎

- ロータリー、駐車台数の増設
- PTA のバイクや車の利用
- 保護者の送迎車の停車スペースは決めたほうが良い
- 送迎自体を禁止するほうが良い
- 車両と児童の動線が交錯しないように車両の侵入区域を明確に。

○グラウンド・学童

- 鶴の台を北寄りにするなどして、グラウンドを広くする
- 学童は学校内にいると安心

○門・敷地外

- 南門、通用門は時間で開閉管理する
- 南側の崖を削って歩道を作ってほしい

避難所機能

○避難所施設

- マンホールトイレは本部に近く、犯罪を防ぐ、男女別
- 学童も使用できると良い
- 飲食物の保存は館内（北側）がよい
- 給食施設の災害時利用または災害時用の給食施設

○グラウンド・物資搬入動線・外構

- 校庭（グラウンド）の排水機能の水はけ
- 災害時の物資搬入口の用意
- 正門はスロープにする
- 物資搬入車両の出入り、体育館への搬入動線の確保
- 物資の配布の方法をしっかりとる、学校は物資配布の拠点とする
- 崖崩れの心配・20mの巨木の倒木の心配

○発電設備

- 停電時を考慮した発電・蓄電機能
- 夜間の照明の確保
- 地震の際の停電時に通信手段としての充電設備を外からできるように
- 停電時にも市とつながる無線設備
- 外からもアクセスし易いコンセント

○バリアフリー・プライベートの確保

- 乳幼児がいる人への配慮、授乳スペース等視界を隔てるもの
- バリアフリー
- 出来る限り簡単な操作で作動する施設・グッズ
- 物資を出しやすい出入口

○学校機能と避難所機能の両立・その他

- 学校施設の避難所をどうバランスとるか
- 学校再開がスムーズにできるよう明確に避難所と学校機能を分離
- 周辺地域を使った防災計画
- 何がどこにあるかをわかりやすく
- 自宅は安全だが、不安な人への対応
- 人材の確保：学校と町内会で2分される
- 80歳以上の独居老人が学校に集まる

- 地域ごとに個別避難計画があるため、町内会に出ていない人が避難する？
- マンホールトイレはいくつぐらい設置できるのか？
- 地下に倉庫を設けることはできないか？・地下の利用計画など？
- 給食室が使える？
- 住民への説明をどうするか？

統合新設校の学校名選定基準について

1 目的

本基準は、円滑に統合新設校の学校名を選定するために定める。

2 基本方針

学校名を選定するにあたっての基本的な方針は以下のとおりとする。

- (1) 地名を大切にする。(地域内の川、山、丘、旧跡等も含む)
- (2) 難しい漢字は使わず、読みやすく、わかりやすいものとする。
- (3) 長い学校名とならないようにする。

3 選定方法

学校名については、以下の手順を踏まえて選定・決定する。

(1) アンケートの実施

統合対象校の児童・生徒、保護者、教職員、地域の住民から広く学校名を集めるためにアンケートを実施する。

(2) 学校名の絞り込み及び広報

アンケートで寄せられた学校名を基本計画検討会で複数(3案程度)に絞り、その結果を広報する。

(3) 基本計画検討会における意見整理・報告

(2)の広報に対して寄せられた意見を基本計画検討会で整理し、その結果を教育委員会に報告する。

(4) 教育委員会による選定

基本計画検討会からの報告を踏まえて、教育委員会において報告された複数案の中から学校名を選定し、議会に上程する。

4 統合を伴わない新たな学校の学校名について

学校名を変更するか否かについて基本計画検討会で検討する。学校名を変更する場合は本基準に準じて選定することとする。

■ 町田市新たな学校名意見募集調査報告書（鶴川西地区）（概要）

1 意見募集概要【2022年5月23日～6月17日実施】

（1）調査・意見募集実施方法等

調査種別	実施方法
① 児童	学校を通じて配布
② 児童の保護者	
③ 教員	
④ 未就学児の保護者	2022年4月2日時点で学区域に居住する未就学児の保護者に郵送
⑤ 地域	学区域で活動される町内会・自治会の会長宛に郵送
⑥ ①～⑤以外の市民	広報まちだ6/1号掲載

（2）対象者

対象	鶴川第二小	鶴川第三小	鶴川第四小
児童	648	416	521
児童の保護者	648	416	521
教員	28	22	26
未就学児の保護者	510		
		615	
地域	30		

（3）回答者数・調査回収率

対象	対象者数	回答者数	回答率
児童	1,585	397	25.0%
児童の保護者	1,585	113	7.1%
教員	76	7	9.2%
未就学児の保護者	1,125	88	7.8%
地域	30	8	26.7%
市民	-	57	-
合計		670	

2 意見募集結果

【あ】
青空
【い】
いちよう通り
銀杏並木
【う】
海川
売ると楽しい
【お】
王らい
大空
【か】
かーびい
鶴真
【き】
きつねくぼ
希望ヶ丘
キング
【け】
げやき
元気いっぱい
【さ】
さくら
桜ヶ丘
桜並木
さんよん
【し】
シン
真光寺
真光寺つるかわ
新星
新鶴川
新鶴川自然
新鶴川第三
しん鶴川第四
新鶴川第43
新鶴川だい43
新鶴川西
【せ】
聖真
【た】
だい七
狸の森
楽しい
たのしい
楽しいよ

【つ】
鶴川
つる川
つるかわ
つる川青空
鶴川青空学園
鶴川いちよう
鶴川いちよう並木
鶴川大空
つるかわ大光
鶴川お花
つる川おもしろ
鶴川絆
鶴川希望
つる川キラキラ
つる川金ひか
つるかわげんき
つるかわ5
鶴川合同第七
鶴川坂の上
鶴川さくら
鶴川桜
鶴川サルビア
つる川三四
つる川三十四
つる川3、4
鶴川三四
鶴川さんよん
鶴川しあわせ
鶴川自然
つるかわしぜん
鶴川市立森の川
鶴川しんこう
鶴川真広
鶴川新光
鶴川新第三
鶴川台
鶴川第五
つる川だい五
鶴川第5
つる川だい三
つる川大三
鶴川第三第四
鶴川第三・第四
つる川だい三四たのしく
鶴川第3と4
鶴川第7未来学園
鶴川第新一
鶴川第七
つる川第七
鶴川第7
つる川大七
つる川だい7
つる川第7

【つ】
つる川第西
鶴川第二
鶴川第四
つるかわだいよん
つる川大43
つる川だい43
鶴川第四&三
鶴川楽のくら
鶴川団地
鶴川中央
つる川中おう
鶴川中おう
鶴川鶴
鶴川つるの台
つる川友だち
つる川なかよし
鶴川なかよし
つる川七
つるかわ並木
鶴川にこここ
鶴川西
つるかわにし
つる川西
鶴川西ヶ丘
鶴川西学園
鶴川西風
鶴川西地区協学
鶴川中央
つる川にっこり
つる川光
つる川ふじ見
つる川ふじみ
鶴川ふるさと
つるかわまちだ
鶴川緑
鶴川みどり
鶴川みどりの丘
鶴川みどりの
つる川南
鶴川みりのり
鶴川みらい
鶴川山野木
鶴川勇氣
鶴川有名
鶴川稜光
鶴子
鶴友
鶴仲
鶴の子
鶴の台
鶴の原
鶴真然
鶴緑
鶴山西

【な】
中よくなる
仲良し
なかよし
並木
【に】
西ヶ丘
西鶴川
虹四
【は】
はばたくつばめ
晴み
【ひ】
光
【ふ】
武相
ふじみ
【み】
みどりしぜん
みどりの里
緑の園
緑町
未来
未来の里
【も】
もぐもぐ
【り】
緑地
緑明
【れ】
令和桜
【わ】
わくわく

■ 統合対象校の物品まとめ

○ 鶴川第三小学校

① 創立30周年記念



② 卒業制作・賞状・トロフィー・校歌・標語



③ レリーフ



④ レリーフ2



⑤ 1993年卒業記念



⑥ 校歌



⑦ 1993年卒業記念2



⑧ 第10回卒業記念



⑨ 昭和50年卒業記念



⑩ 昭和60年校歌



⑪ 写真・郷土資料 (郷土資料室)



⑫ その他：和室



⑬ サイン



○鶴川第四小学校

①記念碑



②鶴の台



③1990年度卒業制作



④第18回卒業制作



⑤校舎写真



⑥レリーフ



⑦校旗



⑧卒業制作



⑨第15回卒業制作



⑩学校・周辺敷地・郷土資料



⑪賞状



⑫サイン



